

## 教育学部の理念・教育目的と三方針

### 1. 学部の教育目的(学則 第1章 第1条 第2項)

「教育学部は、現代人としての教養と教育保育分野の豊かな専門知識・技能をもち、子どもや保護者への共感力をもつと共に、高い使命感と倫理観に基づいて現代社会のニーズに応えてゆける幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭及び保育士の養成を目的とする。」

### 2. 学部の教育目標

- 1) 現代人としての教養と豊かなコミュニケーション能力の育成(人間力)
- 2) 専門職としての確かな知識と技能を持ち、教育・保育現場の現代的ニーズに対応しうる小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・幼稚園教諭・保育教諭・保育士の養成(専門力)
- 3) 自律的学修態度・課題探究能力の育成(課題探究能力)
- 4) 教育・保育分野における実践知と地域貢献力の育成(実践力・地域貢献力)

(「学部で獲得する力」や「学力の3要素」の関係)

学部で獲得する力 学力の3要素	人間力	教育保育の 専門力	課題探究力	教育保育の 実践力・ 地域貢献力
①知識・技能	◎	◎	○	○
②思考力・判断力・表現力	◎	◎	◎	◎
③主体性・多様性・協働性	◎	○	◎	◎

### 3. 学部の三方針

#### (1) 学部ディプロマ・ポリシー(学部 DP)

以下の資質・能力を獲得したものに「学士(教育学)」の学位を授与する。

DP I：現代人としての教養と豊かなコミュニケーション能力を獲得している。

DP II：専門職としての確かな知識・技能を持ち、教育・保育現場の現代的ニーズに対応しうる教諭・保育者の資質を獲得している。

DP III：自律的学修態度・課題探究能力を修得している。

DP IV：教育・保育分野の実践知を修得し、社会や地域への貢献力を獲得している。

(「学部で獲得する力」や「学力の3要素」と学部 DP の関係)

学部ディプロマ・ポリシー	DP I	DP II	DP III	DP IV
学部で獲得する力 学力の3要素	人間力	教育保育の 専門力	課題探究力	実践力・ 地域貢献力
①知識・技能	◎	◎	○	○
②思考力・判断力・表現力	◎	◎	◎	◎
③主体性・多様性・協働性	◎	○	◎	◎

## (2) 学部カリキュラム・ポリシー(学部 CP)

### 1) 教育課程編成方針

以下の方針に基づき、教育学部のカリキュラムを編成する。

CP I：教育課程に教養科目と専門科目を置く。

CP II：基礎的・一般的学修から発展的・研究的学修へ、という順序性をもつ科目配置とする。

(「学部で獲得する力」や「学力の3要素」と学部カリキュラムの関係)

カリキュラム	教養科目	専門科目		
		展開科目	専門演習科目・研究科目	実習科目・インクルーシブ科目
学部で獲得する力 学力の3要素	人間力	専門力	課題探究力	実践力・地域貢献力
①知識・技能	◎	◎	○	○
②思考力・判断力・表現力	◎	◎	◎	◎
③主体性・多様性・協働性	◎	○	◎	◎

### 2) 教育課程実施方針

以下の方針に基づき、教育学部の教育を実施する。

CP III：教室内での学びと教育・保育現場での実践的な学びを組み合わせた教育を行う。

CP IV：学生の学びを引き出す、アクティブラーニングを行う。

CP V：シラバスにおいて、挙証可能な学習成果と評価方法を示す。

## (3) 学部アドミッション・ポリシー(学部 AP)

教育学部への入学者に以下の資質・能力を求める。

AP I：現代人に求められる教養の基礎やコミュニケーション基礎力を持っている。

AP II：専門の知識・技能を修得するための基礎学力や、教諭・保育者になるための意欲・関心・適性を有している。

AP III：自律的な学習態度や、課題に対する思考力・判断力への基盤を持っている。

AP IV：教育・保育の実践から学ぶ姿勢と地域貢献への意欲を持っている。

(「学部で獲得する力」や「学力の3要素」と学部 AP の関係)

学部アドミッション・ポリシー	AP I	AP II	AP III	AP IV
学部で獲得する力 学力の3要素	人間力	教育保育の専門力	課題探究力	教育保育の実践力・地域貢献力
①知識・技能	◎	◎	○	○
②思考力・判断力・表現力	◎	◎	◎	◎
③主体性・多様性・協働性	◎	○	◎	◎